

4 令和6年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨や生徒の実状に応じつつ、配慮を必要とする状況にも対応できるカリキュラム・マネジメントに取り組む。 ・新しい時代に必要となる資質・能力の育成をめざし、授業改善と探究活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育課程に関する検証を行い、成果と課題について整理する。 ②探究のプロセスを取り入れ、授業改善を促進し、授業における1人1台端末の利活用を拡大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①成績処理業務以外でも教科会を行い、教育課程及び授業研究に関する検証・議論を深める。 ②定期的な授業改善研修を実施し、ICT利活用に関する先進事例及び校内の取組事例を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各教科で教科指導及び評価の課題は整理できたか。 ①公開研究授業に組織として取り組めたか。 ②生徒による授業評価において、授業のあり方について好意的な評価が9割5分を超えたか。 ②ICT利活用に関する先進事例及び校内の取組事例を共有することができたか。（会議等を3回以上）
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般をととして生徒の主体性や人間性を高め、社会に貢献できる人材を育成する。 ・生徒理解を深め、個に応じた柔軟な支援を行える体制を組織的に整備し充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①規範意識や身だしなみについての意識の醸成を図る。 ②SC、SSWを効果的に活用し、生徒の抱える問題の早期発見に努める。 ③学校行事や部活動等を活性化させることにより、生徒の主体性や協調性の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①モラル・マナー教育の充実と丁寧な指導により、基本的な生活習慣を確立させるとともに、規範意識を高めるために頭髪・遅刻・服装指導をすすめる。 ②教育相談体制を確立し、個別支援を充実させるために生徒情報交換会を複数回実施する。 ②生徒支援の職員向け研修会を実施し、支援体制を具体化する。 ③実行委員の生徒等の意見をもとにした行事運営を行う。 ③行事や部活動等において、生徒同士の協働を重視した活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①校則や社会規範に対する生徒の理解を深めた上で、時間厳守、挨拶励行、服装頭髪マナーの向上等を図り、指導対象者数を前期と比べて後期に減らすことができたか。 ②教育相談コーディネーターやSC、SSWの連携ができたか。（会議等を月1回以上） ②生徒支援におけるフィードバックで支援担当及び担任の共通理解が図れたか。 ③実行委員の生徒等にアンケートを実施し、活動を通して主体性や協調性が向上したという生徒が8割以上いたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での指導・支援と学校外の教育力を系統的に展開することにより、生徒一人ひとりが自己の適性を正しく理解しながらキャリア意識を高め、希望する進路を実現できる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己の適性を理解させるとともに職業意識を持たせ、将来の目標実現に向けての活動につながるようにする。 ②探究的な学びについて3年間のまとめをするとともに探究的な活動をキャリア教育につなげられよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①外部模試や適性検査、各種講演会や説明会など学校外の教育力を活用し、現状把握をするとともに目標設定をさせる。 ②「総合的な探究の時間」を通して学びのスタイルを身に付けさせるとともに、興味・関心をキャリア選択につなげさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①アンケートを実施し、自分の客観的な位置を把握できた、1年間学習活動を継続し目標を実現できたという生徒が8割以上いたか。 ②アンケートを実施し、希望する進路先や受検方法の決定に際し、妥協したり安易に決めたりせず、自己の目標や適性に沿ったものとなったという生徒が8割以上いたか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者等との連携・協働を図り、信頼され開かれた学校づくりを推進する中で、生徒の主体性や社会性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保育園ボランティアをはじめ、近隣の小中学校との連携を推進し、生徒の主体性を育む。 ②地域貢献活動等を推進し、教育環境の整備・充実を図るなかで、生徒の社会性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①長期休業期間を利用して、保育園ボランティア等への生徒参加を促す。 ①近隣の小中学校と連携して、地域祭りへの生徒参加を促す。 ②説明会や面談を通して、地域貢献活動等ボランティアへの積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①保育園ボランティア等への参加数が20名を超えたか。 ①地域祭りへの参加生徒が10人を超えたか。 ②参加者にアンケートを実施し、活動を通して地域の一員としての意識が高まったという生徒が7割以上いたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者をはじめ社会の教育ニーズに対応しながら、安心して学ぶことのできる教育環境を整備し、学校の取組に関する情報を積極的に発信する。 ・職員の教育公務員としての自覚を高めつつ、ワークライフバランスを推進しながら協働性を高め、業務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①校舎の老朽部分や校内の危険箇所を改善し、安全な教育環境をつくる。 ②HPの充実を図り、学校の取組が見えるようにする。 ③専任の職員だけでなく、非常勤職員を含めた全職員で事故防止及び不祥事防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月の衛生委員会による危険箇所の点検機会を利用しながら、速やかに対応できる体制をつくる。 ②教育活動を積極的にホームページに掲載する。 ③不祥事ゼロプログラムを全職員で確認し、毎職員会議前に不祥事防止研修会を実施する。 ③ヒヤリハットな事例を非常勤を含めた全職員で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①適切に点検を実施し、状況を全体で把握することができたか。 ②清陵ナビで月2回以上の情報発信が行えたか。 ③毎職員会議に研修を実施し、情報共有を図り、事故・不祥事を防げたか。 ③職員の自覚や協働性を高めることはできたか。